



2019年7月29日

各 位

会 社 名 藤倉コンポジット株式会社
代表者名 代表取締役社長 森田 健司
(コード番号5121 東証第1部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 植松 克夫
(TEL 03-3527-8111)

(訂正)「2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、2018年11月12日に開示いたしました「2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2019年7月29日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以 上



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月12日

東

上場会社名 藤倉ゴム工業株式会社 上場取引所
 コード番号 5121 URL <https://www.fujikurarubber.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 健司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 植松 克夫 (TEL) 03-3527-8111
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	16,546	△1.0	743	△46.3	859	△41.0	680	△37.5
2018年3月期第2四半期	16,718	15.9	1,384	68.5	1,457	145.8	1,089	159.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 320百万円 (△63.1%) 2018年3月期第2四半期 867百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	29.10	—
2018年3月期第2四半期	46.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	35,601	24,669	69.3
2018年3月期	35,909	24,512	68.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 24,669百万円 2018年3月期 24,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2019年3月期	—	7.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,800	△0.5	2,000	△7.8	1,900	△14.9	1,500	△5.8	64.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	23,446,209株	2018年3月期	23,446,209株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	49,350株	2018年3月期	49,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	23,396,859株	2018年3月期2Q	23,396,976株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用環境、個人消費について堅調に推移しました。しかし、米中の通商政策による海外経済の不安もあり、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社グループでは、6月28日開催の第139回定時株主総会において、「藤倉コンポジット株式会社（英文：FUJIKURA COMPOSITES Inc.）」へ商号変更することについて決議されました。なお、商号変更は2019年4月1日を予定しております。また、7月26日開催の取締役会において、原町工場（福島県南相馬市）の敷地内に工場建屋を新設することを決議いたしました。今後、医療用ゴム製品などの生産拡大、および管理部門の集約に伴う作業効率の改善を図ってまいります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は165億4千6百万円(前年同四半期比1.0%減)、営業利益は7億4千3百万円(前年同四半期比46.3%減)、経常利益は8億5千9百万円(前年同四半期比41.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億8千万円(前年同四半期比37.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<産業用資材>

工業用品部門は、国内においては自動車、住宅機器、設備投資関連など総じて好調だったものの、北米の自動車部品メーカーの在庫調整、中国市場の減速の影響を受け減益となりました。制御機器部門は、前期まで続いていた液晶・半導体関連メーカーの設備投資が減速したため減益となりました。電気材料部門は、電力・情報通信などのインフラ工事用部材の受注が順調に推移し増益となりました。

この結果、売上高は107億3千6百万円(前年同四半期比微増)、営業利益は4億8千7百万円(前年同四半期比46.3%減)となりました。

<引布加工品>

引布部門は、音響用と工業用その他一般ゴム布の受注が減速し減益となりました。印刷材料部門は、高付加価値製品に支えられて売上を維持しましたが、製造費用が増加したため減益となりました。加工品部門は、国内外において救助設備など舶用品が好調で増益となりました。

この結果、売上高は25億6百万円(前年同四半期比6.0%増)、営業利益は1億4千8百万円(前年同四半期比33.5%増)となりました。

<スポーツ用品>

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、8月に発売した「Speeder EVOLUTION V」などのシャフトがプロゴルファーに採用され多くの支持を得ておりますが、ゴルフクラブメーカー向け製品の受注が一服したことにより減益となりました。アウトドア用品部門はキャラバンシューズやJack Wolfskinなどの主力商品が下支えとなったものの、全体の需要が停滞したため減益となりました。

この結果、売上高は31億1千4百万円(前年同四半期比9.5%減)、営業利益は3億5千4百万円(前年同四半期比40.7%減)となりました。

<その他>

物流部門は、自然災害による交通機関の混乱、人手不足などの影響から荷動きが低迷しましたが、荷役作業の増加などにより増益となりました。

この結果、売上高は1億8千8百万円(前年同四半期比4.8%増)、営業利益は3千8百万円(前年同四半期比4.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億7百万円減少の356億1百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億6千4百万円減少の109億3千2百万円となりました。純資産につきましては、246億6千9百万円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の68.3%から69.3%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月15日の「平成30年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,601,571	5,319,708
受取手形及び売掛金	10,175,191	9,901,919
商品及び製品	2,312,120	2,133,934
仕掛品	2,217,296	2,327,630
原材料及び貯蔵品	780,280	869,614
その他	643,230	796,193
貸倒引当金	△26,689	△28,172
流動資産合計	21,703,001	21,320,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,999,555	4,830,163
機械装置及び運搬具（純額）	2,747,364	2,770,662
土地	3,182,345	3,213,292
建設仮勘定	444,092	553,317
その他（純額）	635,547	691,852
有形固定資産合計	12,008,906	12,059,288
無形固定資産		
ソフトウェア	135,650	141,953
その他	207,734	178,054
無形固定資産合計	343,384	320,008
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,125,053	3,180,998
貸倒引当金	△1,271,164	△1,279,897
投資その他の資産合計	1,853,889	1,901,100
固定資産合計	14,206,180	14,280,397
資産合計	35,909,181	35,601,226

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,618,780	2,385,577
短期借入金	3,184,585	2,418,791
未払法人税等	<u>291,804</u>	139,185
賞与引当金	440,004	468,574
その他	<u>1,872,735</u>	<u>1,733,175</u>
流動負債合計	<u>8,407,909</u>	<u>7,145,304</u>
固定負債		
長期借入金	1,290,000	2,107,500
環境対策引当金	29,513	29,513
退職給付に係る負債	<u>975,909</u>	949,084
資産除去債務	176,947	175,642
その他	<u>516,210</u>	<u>524,980</u>
固定負債合計	<u>2,988,580</u>	<u>3,786,720</u>
負債合計	<u>11,396,489</u>	<u>10,932,025</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	<u>16,457,174</u>	<u>16,974,177</u>
自己株式	<u>△20,396</u>	<u>△20,396</u>
株主資本合計	<u>23,453,562</u>	<u>23,970,564</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436,694	404,193
為替換算調整勘定	<u>850,157</u>	<u>497,640</u>
退職給付に係る調整累計額	<u>△227,722</u>	<u>△203,197</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>1,059,129</u>	<u>698,635</u>
純資産合計	<u>24,512,691</u>	<u>24,669,200</u>
負債純資産合計	<u>35,909,181</u>	<u>35,601,226</u>

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	16,718,384	16,546,261
売上原価	<u>12,175,236</u>	<u>12,451,398</u>
売上総利益	4,543,148	4,094,863
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	310,590	265,524
給料及び手当	945,507	1,000,630
賞与引当金繰入額	99,053	103,492
退職給付費用	49,105	51,057
減価償却費	69,073	67,576
研究開発費	341,538	361,282
その他	1,343,478	1,502,265
販売費及び一般管理費合計	<u>3,158,348</u>	<u>3,351,828</u>
営業利益	<u>1,384,799</u>	<u>743,034</u>
営業外収益		
受取利息	4,883	4,852
受取配当金	38,103	38,291
為替差益	25,494	110,523
受取賃貸料	21,952	22,521
補助金収入	19,262	7,375
その他	75,231	35,971
営業外収益合計	<u>184,928</u>	<u>219,537</u>
営業外費用		
支払利息	13,819	11,479
賃貸収入原価	7,166	6,824
固定資産除却損	2,526	5,077
貸倒引当金繰入額	<u>51,207</u>	<u>34,264</u>
その他	37,219	45,487
営業外費用合計	<u>111,939</u>	<u>103,132</u>
経常利益	<u>1,457,788</u>	<u>859,439</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>1,457,788</u>	<u>859,439</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>340,491</u>	<u>169,946</u>
法人税等調整額	<u>27,877</u>	<u>8,713</u>
法人税等合計	<u>368,368</u>	<u>178,659</u>
四半期純利益	<u>1,089,419</u>	<u>680,780</u>
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>1,089,419</u>	<u>680,780</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,653	△32,501
繰延ヘッジ損益	△202	—
為替換算調整勘定	<u>△345,421</u>	<u>△352,517</u>
退職給付に係る調整額	36,796	<u>24,525</u>
その他の包括利益合計	<u>△222,174</u>	<u>△360,493</u>
四半期包括利益	<u>867,244</u>	<u>320,286</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>867,244</u>	<u>320,286</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	10,734,267	2,364,603	3,439,617	179,897	16,718,384	—	16,718,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	62,149	62,149	△62,149	—
計	10,734,267	2,364,603	3,439,617	242,047	16,780,534	△62,149	16,718,384
セグメント利益	<u>906,655</u>	111,524	597,431	37,050	<u>1,652,661</u>	△267,862	<u>1,384,799</u>

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去298千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△268,160千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	10,736,460	2,506,776	3,114,415	188,609	16,546,261	—	16,546,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	57,081	57,081	△57,081	—
計	10,736,460	2,506,776	3,114,415	245,690	16,603,343	△57,081	16,546,261
セグメント利益	<u>487,043</u>	148,836	354,052	38,776	<u>1,028,708</u>	△285,673	<u>743,034</u>

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去220千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△285,894千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。